

資料

「沖繩現代史を見る」 with 沖繩映像祭 「地方の時代」映像祭 提携企画

開催日時：2017年11月4日（土）、5日（日）
会場：沖繩国際大学13号館3階
主催：沖繩法政研究所
共催：NPO法人文化経済フォーラム
協力：「地方の時代」映像祭実行委員会
映像協力：琉球放送、沖繩テレビ、NHK沖繩放送局、琉球朝日放送、毎日放送

〔開催趣旨〕

沖繩法政研究所では、2017年11月4、5日に、「沖繩現代史を見る」をテーマに、沖繩映像祭（「地方の時代」映像祭）提携企画を開催致します。

大学で学生と向き合う中で、若い世代に沖繩の現代史を伝えるにはどうすれば良いのか、常に教員として模索していますが、困難な課題です。

沖繩における地元テレビ局は、長年にわたり優れたドキュメンタリーを制作してきました。それら秀作を集中的に上映する「沖繩映像祭」では、生々しい臨場感を以て過去を見ることができます。映像は若者に沖繩現代史への関心を持って貰うために有効な教材です。「沖繩映像祭」主催者の県内NPO法人文化経済フォーラム代表・具志堅勝也氏に、本学での開催を打診したところ、快諾を頂き、本学での「沖繩映像祭」開催に御尽力頂きました。

「地方の時代」映像祭は、今年で37年の歴史を持つ、全国の地方テレビ局や市民・学生等が制作した優れたドキュメンタリー作品を表彰する映像祭で、「地方の時代」映像祭提携とすることで、「沖繩映像祭」において地元各局の作品を上映することが可能となりました。

これらの上映作品を題材とする、沖繩法政研究所所員による議論の場を持つと、

シンポジウムを開催致します。4日は、「復帰とその前後を考える」、5日は、「映像教育の可能性」をテーマとし、4日は、多くの上映作品の題材である、1960年代から70年代を中心とした、沖縄の社会、政治、対米関係、文化を、専門的知見から語り合う場とし、5日は、具志堅氏による、県内大学での映像を使った教育の実践から、教育における映像の活用について、様々な観点から検討する機会にしようと考えています。

若い世代はもちろん、多くの市民の皆さんに、沖縄が歩んできた重要な時代の「証言」を、改めて確認して頂きたく、地元局が力を込めて制作した、これらのドキュメンタリー作品が受け継がれていくよう、期待します。

沖縄法政研究所フォーラム第16回シンポジウム

復帰とその前後を考える

パネリスト

稲福日出夫 沖縄法政研究所所員／沖縄国際大学法学部教授

佐藤学 沖縄法政研究所所長／沖縄国際大学法学部教授

野添文彬 沖縄法政研究所所員／沖縄国際大学法学部准教授

コーディネーター

平 剛 沖縄法政研究所副所長／沖縄国際大学法学部准教授

沖縄法政研究所第39回講演会

映像教育の可能性

講師

具志堅勝也 NPO 法人文化経済フォーラム理事長

元琉球朝日放送報道制作局長

コメンテーター

安原陽平 沖縄法政研究所所員／沖縄国際大学総合文化学部講師

司会進行

照屋寛之 沖縄法政研究所所員／沖縄国際大学法学部教授